

はじめに

高崎市は、広大な関東平野の北西端に位置し、利便性の高い快適な市街地をはじめ、豊かな田園地帯や榛名山系の山々と清流が織りなす美しい自然など、多彩な環境をもつ都市です。

また、三度にわたる平成の大合併を経て、37万の人口を擁する群馬県を代表する都市となり、2011年4月1日には中核市に移行します。

この優れた自然環境の中で、また、北関東・北信越地域の発展において大きな役割を担っていくことが期待される中で、高崎市は、人と自然とが共生する持続的発展が可能な「市民が創造する地球環境都市たかさき」の実現を目指し、市民の皆さまとともに全力で環境問題に取り組んでいます。

そうした一方、私たちを取り巻く環境は、日々の社会経済活動がもたらす負荷によって、公害、ごみ問題、自然環境の破壊、さらには地球温暖化などの様々な問題に直面しています。

これらの環境問題の解決にあたっては、従来の大量消費の社会のあり方やライフスタイルを見直し、環境への負荷を低減した「循環型社会」の構築や、地球規模の問題の解決に向けた取り組みが求められており、私たち市民一人ひとりの行動が大きな役割を果たします。

今回策定した「高崎市地域新エネルギービジョン」は、環境負荷の少ない新エネルギーを、本市の地域特性に合わせて、体系的・計画的に導入するためのものであり、地域レベルでの地球温暖化対策を推進するものです。

今後は市民や事業者の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、このビジョンを実現していきたいと考えております。

最後に、本ビジョン策定にあたりご尽力いただいた「高崎市低炭素社会研究委員会」の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに厚くお礼申し上げます。

2011年3月

高崎市長 松浦幸雄